

景況、16期連続プラス

県内1～3月 観光、建設好調

県内景況天気図

※景況天気は売上DI・採算水準DI・資金繰りDIの平均値

業種	2015年				2016年				2017年		
	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 前回実績	1～3月期 前回見通し	1～3月期 今回実績	4～6月期 今回見通し			
全業種(除金融)	19.0	15.7	12.8	12.1	15.3	16.0	17.0	17.5			
製造業	24.2	16.1	8.7	2.6	7.3	12.5	▲0.5	15.1			
建設業	9.0	14.0	7.6	6.2	16.4	15.4	19.9	12.4			
卸売業	25.6	19.0	17.5	17.1	27.8	27.0	30.0	28.3			
小売業	18.5	22.0	21.7	25.2	20.3	20.3	27.0	23.4			
運輸業	28.1	13.7	3.9	4.9	2.9	9.8	8.8	19.6			
情報通信業	▲5.3	8.8	7.4	▲15.8	▲11.7	8.3	11.7	10.0			
サービス業	13.3	9.4	9.5	6.7	18.0	13.3	19.0	15.6			
飲食店・宿泊業	43.5	23.6	34.7	60.5	42.0	18.8	29.2	15.3			

☀️ 快晴…30以上～100以下 ☁️ 晴…10以上～30未満 ☁️ 薄曇り…▲5以上～10未満
 ☁️ 曇り…▲30以上～▲5未満 🌧️ 雨…▲100以上～▲30未満 (単位: %ポイント)

沖縄振興開発金融公庫
 (川上好久理事長) は13
 日、2017年1～3月期
 の県内企業景況調査結果を
 発表した。前年同期に比べ
 て景況が「好転」したと答
 えた企業から「悪化」した
 と答えた企業を引いた割合

を示す業況判断指数(D
 I)は、プラス9・5で、
 16四半期連続でプラスとな
 った。観光需要の拡大や堅
 調な建築需要を背景に好調
 を維持しており、来期(4
 ～6月期)はプラス11・5
 になると見通している。

平成29年4月14日
 提供: 琉球新報社
 ※無断での転用・複写等を禁じます

業種別の業況判断DIで
 は、建設業が那覇空港の第
 2滑走路や個人住宅の建設
 など公共・民間ともに堅調
 に推移しており、プラス25
 ・4となった。小売業は観

光客の増加や堅調な個人消
 費によってプラス23・4と
 好調を維持している。情報
 通信業はIT(情報技術)
 関係で資金繰りが悪化する
 企業があったため、マイナ

ス20・0となった。
 人員が「不足」と答えた
 企業から「過剰」と答えた
 企業を引いた割合を示す雇
 用判断DIはプラス49・3
 と「不足」超で、各企業の

経営上の問題点は「求人
 難」が24%を占め、いずれ
 も過去最高となった。調査
 は366社を対象に実施
 し、347社から回答を受
 けた。

景況16期連続プラス

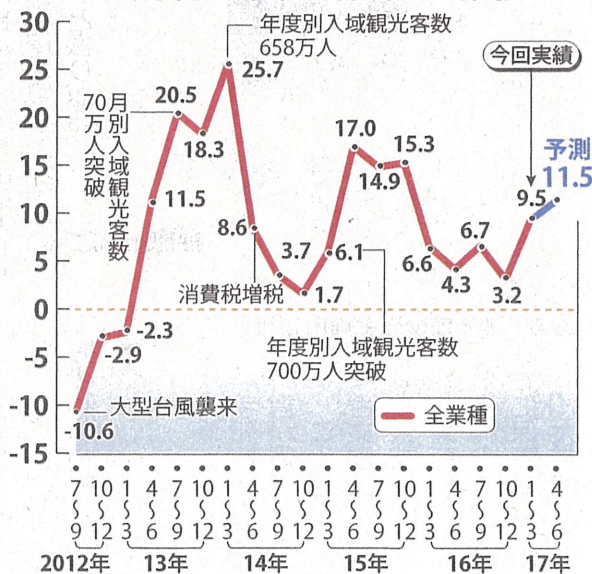
沖縄公庫 人手不足は深刻化

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）が13日発表した1～3月の県内企業景況調査は、前年同期に比べ業況が「好転」したと答えた企業の割合から「悪化」の割合を引いた業況判断DIは9・5と16期連続のプラスとなった。従業員が「不足」しているから「過剰」を引いた雇用判断DIは49・3と前期の過去最高を更新。好感が増す一方、人手不足が深刻化している。

雇用判断DIで「不足」の回答は50・7%で、調査開始の1996年1～3月期以来初めて過半を超えた。「過剰」は1・4%だった。

業況判断DIでは、観光客の増加が続いていることから、飲食店・宿泊業（33・3）、小売業（23・4）、運輸業（8

沖縄公庫業況判断DIの推移



・8)などの観光関連産業を中心にプラスとなった。建設業も旺盛な建築需要を受け25・4と高水準だった。

一方、サービス業では人手が足りずに売り上げが減少する企業もありマイナス2。情報通信業は、人手不足を補うため、外注が増えコストが上昇しマイナス20となった。採

型のサービス業が多く、人手不足は深刻になっている」とした。